

大学と一緒に教育・人材育成を！

産学連携教育

地域社会との積極的な連携による教育プログラムを設計しました。

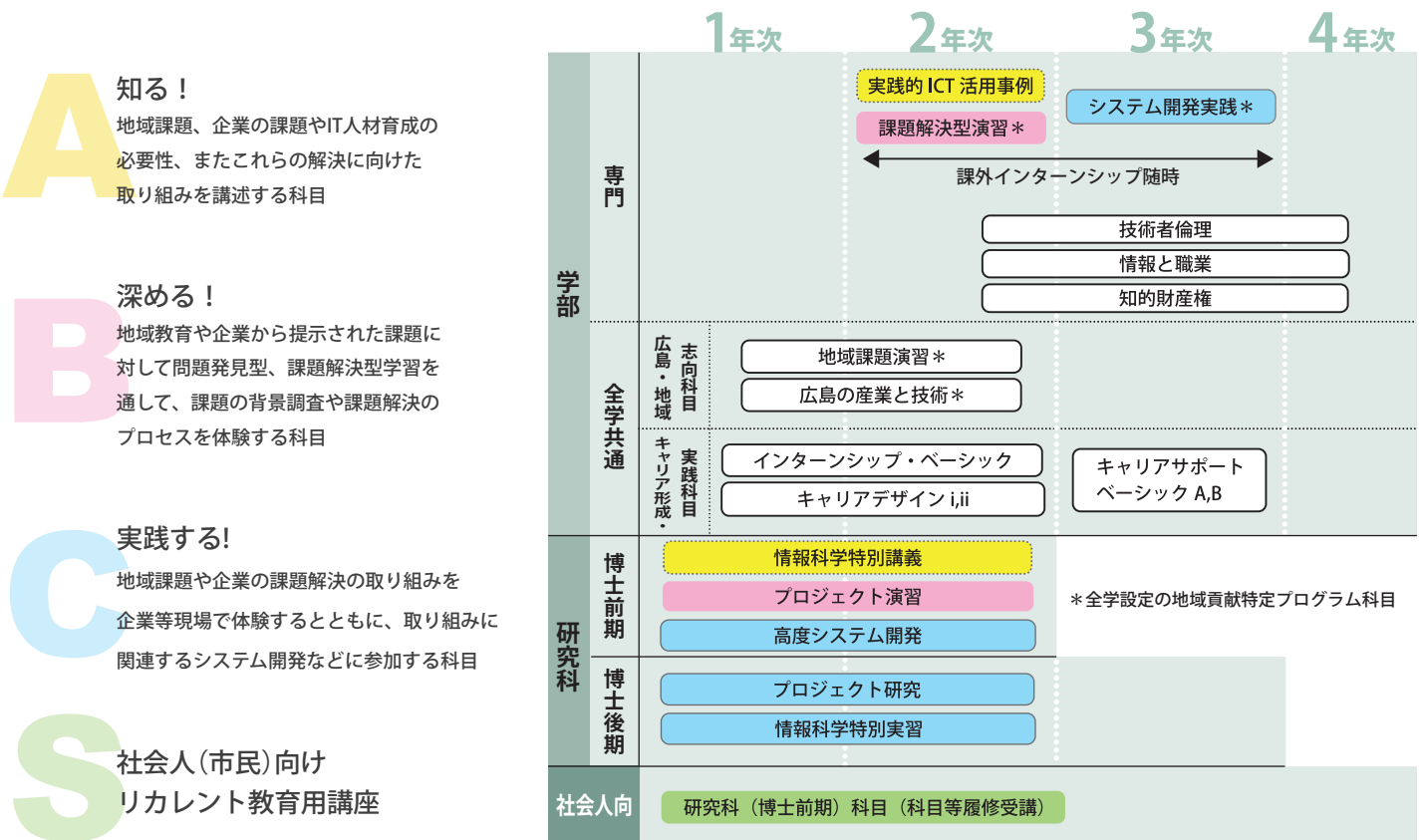
地域の産官学で地域の将来ビジョンを共有し、産学連携で教育・人材育成に取り組みます。

産学連携教育の目指すところ

- 地域社会で、特に IT 分野で意欲的に活躍し、本地域の IT 利活用推進に貢献できる人材を育成する
- 大学の専門基礎力に加え、企業や自治体との IT を必要とする現場において実践的専門教育を提供する
- 企業に大学の人材を知ってもらう
- 地域・産業界が求める人材像を学生が知り、自らの将来像を早く描く
- 教育を通して、企業との共同研究に展開する

授業や講座をリニューアルしました

従来開講の産学連携教育の関連科目に加え、新たな 4 タイプの科目を設定しました。



・色なし科目は従来から開講の産学連携教育関連科目 ・年次は想定対象学年で、上級年次学生も受講可能
 ・科目名は変更する場合があります

連携科目（学部、博士前期課程）について

知る！

地域課題、企業の課題や IT 人材育成の必要性、
またこれらの解決に向けた取り組みを講述する科目

第2～14回に企業等から1回以上出講していただき、テーマに関して講述する座学の講義です。各回小課題を提示し、その内容と受講態度を評価していただきます。第1回と第15回は大学でそれぞれガイダンスと総括の講義をします。講義実施申請時に講義のテーマと内容、回数、評価方法の提示をお願いします。

実践的 ICT 活用事例

学部2(～4)年生対象、後期開講(10月～1月)

A

深める！

地域教育や企業から提示された課題に対して
問題発見型、課題解決型学習を通して、
課題の背景調査や課題解決のプロセスを体験する科目

企業等から提示された課題について、課題の背景の研修や解決に向けたプロセス(プロジェクトマネジメント含む)を学生に指導していただく演習講義です。学生がテーマを選んで履修し、提示の取り組み方法に従って課題解決に取り組みます。企業現場を含むフィールドワークで、企業での実習の場合、産学協働取り組み※のタイプ3に相当します。第1回と15回は大学でガイダンスと成果発表会を行います。取り組み状況と成果発表によって評価していただきます。講義実施申請時に課題名、課題内容、取り組み方法(実習場所含む)、評価方法の提示をお願いします。

課題解決型演習

学部2年生以上対象、通年 集中開講

プロジェクト演習

大学院1、2年生対象、通年 集中開講

B

実践する！

地域課題や企業の課題解決の取り組みを
企業等現場で体験するとともに、
取り組みに関連するシステム開発などに参加する科目

学生が企業等現場で就業体験し、提示された課題を解決する実践的なシステム開発に取り組む科目です。産学協働取り組み※のタイプ3やタイプ4を想定した内容です。第1回と15回は大学でガイダンスと成果発表会を行います。取り組み状況と成果発表によって評価していただきます。講義実施の申請時に開発テーマ、開発方法、実習場所、必要とされる知識・能力等の提示をお願いします。

システム開発実践

学部3年生対象、通年 集中開講

C

社会人(市民)向け リカレント教育用講座

大学から提供する講座です。オンデマンドタイプも含まれます。
開講時期、テーマが決まったら、お知らせします。

S

※採用と大学教育の未来に関する産学協議会では2020年度に報告書「ポスト・コロナを見据えた新たな大学教育と産学連携」をまとめ、学生のキャリア形成支援における産学協働の取組みや多種多様なプログラムの4つのタイプの類型化。

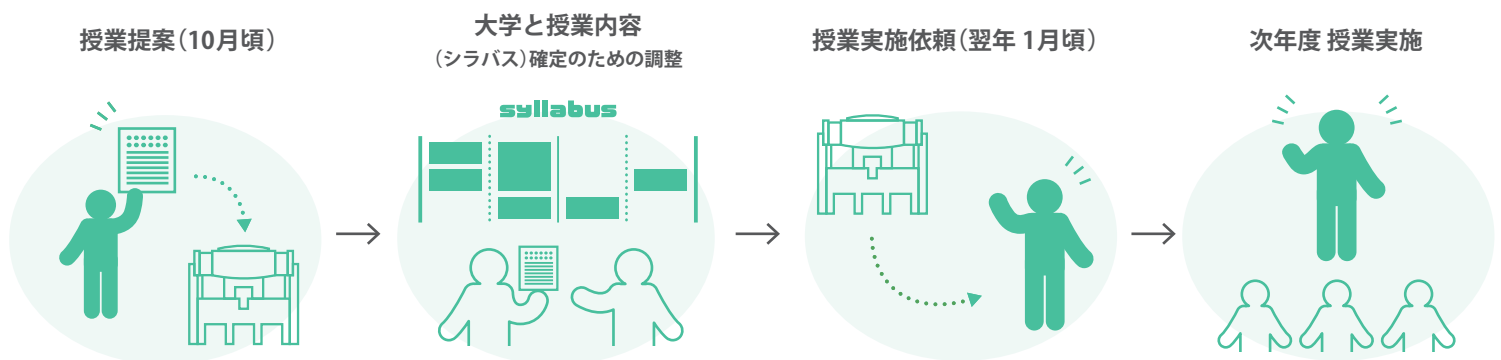
タイプ1：オープン・カンパニー（オープンキャンパスの企業・業界・仕事版）

タイプ2：キャリア教育（プレ・インターンシップ）

タイプ3：汎用型・専門型インターンシップ

タイプ4：高度専門型インターンシップ

授業提案から実施までの流れ



授業の提案募集は社会連携センターのウェブサイトでお知らせします。

お問い合わせ先：sangaku-edu@m.hiroshima-cu.ac.jp